

# 議会だより



1月9日 消防団出初式（通常点検）



◇一般質問 .....	2～5
◇第4回定例会内容 .....	5～6
◇第6回臨時会内容 .....	6
◇村長報告 .....	6～7
◇委員会報告 .....	7～8
◇議会のうごき・編集後記 .....	8

# 平成22年 第4回定例会

平成二十二年第四回定例会は、十二月九日から十四日までの六日間の会期で開かれました。本定例会では三名の議員が一般質問を行い、村長の考えを質しました。また、村長からは、村政執行状況が報告されました。議案は平成二十二年度補正予算案五件、諮問一件が提出され、慎重に審議された結果全議案原案のとおり可決されました。また総務教育常任委員長より陳情に係る意見書案一件が提出され、原案通り可決されました。

## 一般質問



水野谷 博 議員

水野谷博議員

次の四点について質問いたします。

・農業に関して、今政府は貿易自由化に向け、環太平洋連携協定(TPP)に参加を検討しているが、国の動きに対し村として何らかの対策を講ずるべきと思つが、

今後農業に対するかわり方をどのように考えているか。

・商業の活性化について、農村部においても町の大型店に客足が流れている現状から、村内の商業の将来についての考えは。

・工業に関して、村はもっと積極的に企業誘致の行動を起こすべきと考えるが、現在中島村のPR活動はどのようにしているか。

・中島村の自立に関して、現在の長引く経済不況で自主財源も年々減少する中、村はこのまま自立の道を歩むのか、また合併の道を模索するのをお尋ねしたい。

村長

貿易自由化に向けた行政の対応については、村としても、基幹産業である農業の将来を

左右する重要課題と認識し、国、県の動向等の情報収集に努めたい。その動向を見極めながら県、町村会、JAその他農業団体と連携し、国への要望等に取り組みたい。私としては現段階でのTPP参加は時期早尚と考える。

また農業を取り巻く環境は厳しさを増す状況にあつて、行政として様々な施策や体制づくりを調査研究しながら、担い手の育成・確保と経営改善、生産コストの低減化、ブランド化等による競争力の向上、六次産業化への取り組み等に関係機関と連携しながら積極的に取り組むたい。

商業の活性化については、高齢化の進展により、高齢者が気軽に買い物ができる地域密着型の商店の再生が必要となつてくると思われる。また商業従事者の高齢化と担い手不足の課題もある。これらの課題について村商工会と連携し、取り組むたい。

企業誘致については、村内企業の動向や雇用情勢は、先行き不透明な経済情勢から厳しいものとなつている。定住促進を図るためにも雇用の確保、また自主財源確保のためにも、企業の立地が望まれる。

村としても県主催の「企業立地セミナー」への参加等誘致活動に努めているが、今後は村ホームページを活用し、本村をアピールし、企業誘致に努めたい。

中島村の自立に関しては、平成の大合併も一段落したことから、今後国の地方分権等の動向を注視し、将来を見極めて参りたい。当分の間は、自立の努力をしていきたいと考えてます。

水野谷博議員

農業に関して、TPPに参加すると農業は崩壊の危機と言われております。とくにコメ生産農家は厳しい国際競争の中でやっていかなければならない。今後米、その他農産物は生産したものを他人任せで売るのはなく、付加価値を高めて販売していくことが必要になると思つが、その点に申し村として積極的にサポートしていくべきと考えるがどうか。

商業の件ですが、高齢化の進む中で、将来村内で食料品や生活必需品の調達ができるよう、商工会を含めた活性化対策を考えていただきたい。企業誘致に関し中島村の人口は、他市町村からの移住等に

より大きな変動がない、しかし移住と雇用は一体が望ましいと考えるがどうか。

合併の件に関し、当分は自立のための努力をしたいとの答弁であったが、自立ならば更なる行財政改革が必要と思つが、今後どのような形で行財政改革をすすめていくのか伺いたい。

村長

農産物のブランド化、六次産業化への対応を行政と関係機関一体となつて支援し担い手の育成に努め、その担い手がコスト削減に向けた経営を行えるよう指導していきたい。

農村部の商業は、他市町村も同じような問題を抱えており、それを打破するためには行政と商工会が一体となつて検討していきたい。

本村の企業に本村の住民が雇用されることは非常に望ましいと思う。しかし現在の経済状況の中での企業誘致は困難を極めている。村の人口を維持増加するため、魅力あるむらをつくり移住者を増やすことも活性化になるのではないかと考える。

行財政改革は、費用対効果等を見極めた上で村財政の中で反映していきたい。

水野谷博議員

農業の担い手不足を解消し、本村のすばらしい田園風景と恵まれた自然環境を今後とも維持できるように行政として努力していただきたい。

商業の活性化についても、今後商工会と行政が話し合いを密にして対応していただきたい。

企業誘致について、村長は難しいとの答弁であるが、私はまだ努力が足りないのではないかと考えております。県、関係機関、企業にこまめに足を運んで中島村をPRする努力は必要だと思つので、もう一度検討願いたい。

本村のように小さな村が自立していくためには、大変厳しい行財政改革を進めなければならぬと考えます、村長の考えを聞きたい。

村長

企業誘致について、私としては、これから地元選出の県会議員並びに国会議員等々と連絡を密にし、積極的に取り組んでまいりたいと思つます。自立の道を選ぶならば、更なる行財政改革が必要ではないかとお尋ねですが、全くそのとおりだと思つており、これからこの小さな村が自立していくためには、きちつと

した行財政改革をして、住民の納得を得ながら行政を進めていくつもりですので、ご理解いただきたいと思います。



水野谷 薫 議員

水野谷薫議員

村長としてこれからの村づくりについて、どのように進めていくのか質問致します。

次に新年度予算編成の基本姿勢について、我が国の景気は2008年リーマンショック以来デフレ状態が続き、加えて最近の円高等により経済の先行き不安要因となっている。また大きな社会問題となっている雇用問題、さらに国、県、地方自治体の財政状況も年々悪化しております。本村においても税収の落ち込みや補助金の減額または廃止等が予想されますが、こうした中歳出を厳しく査定し不必要と思われるものはカットし、必要事業については積極的に、

かつ計画的に実施すべきと思つたが村長の考えを伺いたい。また次の五点について具体的な説明答弁を求めます。

- ・教育の振興充実について
- ・環境の整備と振興について
- ・地域格差の解消について
- ・各行政区の要望の取組について
- ・二十三年度の主な重点事業について

村長

私は「あなたの意見(ご意見)が私の行動の原点です」をスローガンに掲げてきました。これは『村民とともに、この中島村を創っていく。』という私の村長としての基本姿勢であります。本村は先人の努力により、ハード面の整備は他と比べると進んでおります。また都市部で失いつつある家族のよき関係も残っており、勤勉であるという村の特性を活かしながら、その可能性を探り出したいと考えております。それが、農業後継者育成、高齢者の介護のあり方、教育の振興等であります。次に新年度予算編成の基本姿勢であります。

校支援員についても、より効果があがるよう検討したい。さらに、効果的な教育向上支援策を教育委員会と共に検討したい。

・産業の振興について、特に本村の基幹産業である農業について、後継者の育成が大きな課題であると考えており、新年度には後継者育成の道筋を関係機関と共に立てていきたい。

また、食糧自給率の確保と水田の持つ多面的機能保全の観点から、水田活用事業も継続して実施していきたい。

・地域格差の解消と環境整備については、道路等社会資本の整備では、村内にはまた整備の必要な地区があるように思つている、私はすべての地区が均衡ある整備がなされるべきと考える。整備が進んでいない地区についてその事情等について再検討したい。

・行政区の要望の取り組みについて、その要望事項すべて目を通し、必要があれば現場に足を運ぶことを考えている。その上で、全村的視点で実施すべき事業は実施したい。

・新年度の主な重点事業については、一つに子育て支援事業の一層の充実を図るため、「保育所幼児及び幼稚園児の

病後保育」実施したい。

二つに高齢者福祉対策事業として、介護保険法に規定する施設でなく、広い意味での介護、高齢者支援のための施設として、短期宿泊も可能な宅老所の設置について検討したい。

そのほか、農道や生活道路の整備も実施したいと考えております。

水野谷薫議員

教育の振興・充実について、以前中学生等の海外研修、ホームステイを実施していたが、現在はなくなっている。財政的なこと等理由はあると思つたが、これから国際社会へ子供たちが出たときに、英語や海外での体験が非常に大事になつてくると思うが、村長が海外研修についてどのように考えているか伺いたい。

環境の整備と産業の振興について、いま行政区の中でも道路の整備の要望が多く出されている。財政面を考えながら、優先順位をつけて実施していただきたい。

二十三年度の主な重点事業で、子育て中の子供が小さいとなかなか思うように働けない現状ですので、村として子育て支援策について前向きに実施していただきたい。

次に高齢者対策について、年をとって病院や施設へ入らなければならないことも考えられるが、村としてそのようなことを先取りして、短期宿泊できるものを考えていくべきであるので、出来るものから対処していただきたい。

村長

将来を担う子供たちに国際的感覚を身につけるため、ホームステイ等の海外派遣は非常に素晴らしいことだと思っている。もしそういった気運が高まれば、ぜひ海外派遣事業を再開してみたい。これも財政面を十分踏まえて進めたい。環境の整備で、行政区からの要望も踏まえて、検討したい。

病後保育については、病気がなくなったお子さんを家庭でみていて、病気がよくなるまでは親が会社等の都合でどうしても休めないような場合、お子さんを幼稚園・保育所で一時預かり、資格をもった職員が対応できるような、病後保育を実施したい。

高齢者福祉対策事業は、高齢者介護の中で、だれもが家庭で家族のもとで最期を迎えたいの思いがあります。しかし介護している家族は一年中休みがない状況にあります。そういったときショートステイ

の場所があれば、リフレッシュ期間が取れ、体を休めてまた介護に専念できる。そうした施設を村としてつくっていきたいと考えている。

水野谷薫議員

英語教育について、英語が覚えられる年齢として三歳児あたりからの教育が非常に大事なのかと思います。国際社会へ対応するため、村として英語教育について向上できるような対策を考えてもらいたいがどうか。

村長

小さい時から英語に触れることは非常に大切だと思えます。そのためには、英語指導者の確保と予算等も踏まえ、必要があれば考えていきたい。また、学校の先生も子どもたちを指導するためには、英語力をつけたいといけないし、そうした先生の育成も必要ではないかと思っている。

水野谷薫議員

これからの世代を担う子供たちのため、基礎的な英語を幼稚園のときから学ばせたいと思うので、前向きな行政をお願いしたい。

今回様々な角度から村長の考えを伺いました。今後村長には村民一人一人が住んでよかったと思えるような、希望

と夢がある明るい村づくりを希望し質問を終わります。



円谷 哲雄 議員

円谷哲雄議員

長引く景気の低迷により、経済・雇用は一向に回復の兆しは見えず、本村も厳しい財政状況にある中、少子高齢化対策や、福祉の増進が大きく叫ばれており、今後地域振興を推進する村長の手腕に、多くの村民が期待するところであるとあります。

諸問題が山積する中で、村政を執行するためには、村長と我々議会も知恵を出し合い問題解決に取り組んでいかなければならないと考えます。

村長は介護支援・介護施設等について理解を示していると思いますが、これらについてどのように考えているのか。また、今行われている支援のほかにも考えているのか。さらに施設について、本村の実

情に合った施設の建設も視野に入れてお尋ねします。

次に農業振興について、本県でも、地元農林水産物に付加価値をつけ、売れる商品開発の取組、人材等の育成を目的に地域活性化支援事業として地域産業六次化が推進されており、農産物販売にも大きな変革が求められている今、どのような農業振興策を考えているのか。

少子化対策の一環として、他市町村からの移住を含め、児童数を確保する観点から、入学前児童の保護者と小学校児童保護者を対象とした土地造成の推進は急務だと思いが、村長の考えは。

職員の構成比、新規採用について、本村職員の構成比は非常にバランスの欠いたものになっていると思えます。その時々状況・情勢により現在に至ったものと思いますが、そろそろ是正を図り、新規採用も視野に入れる時期と思うが、その考えを伺いたい。

村長

高齢者にとって、できるならば一生涯家族のもとで過ごしたいと考えるのではないかと、しかしそれには家族の協力なくしてはできないし、同時に

家族介護の現状をみると容易でない状況です。家族の介護負担の軽減を図り、なおかつ増えることが予想される介護保険給付費をできるだけ抑えられるような施策を検討したい。その一つとして、短期宿泊もできる宅老所の設置を検討している。

次に、農業振興について村は本年度米生産数量目標の達成率を向上させ、水田農業所得の向上と経営の安定化を図るための支援策として「中島村水田利活用促進事業」を実施し、一定要件を満たした生産者に対し、新規需要米の作付面積一〇アール当たり一万円を補助し、村全体の補助金ベースで137万5190円となった。

今後は、新規需要米以外の作物についても関係機関とともに検討していきたい。

少子化対策としての宅地造成の考えであるが、現在浦原ニュータウンに三区画を所有し、販売に努めているが売買に至っていないため当面この販売促進に努めたい。将来的には、子育て支援や高齢者福祉施策を充実させ、魅力ある中島村をPRし、定住促進を目的とした小規模分散型の宅地分譲に取り組みたい。

職員採用については、行政需要の増大や退職職員の有無等が関係してきます。さらに近年行財政改革の一環として退職者補充を最小限としました。

現在の職員の年齢構成から、今後の定年による退職の状況を見ながら、適切な時期に職員の補充は必要と思う。行政には最小の経費で最大の効果が求められるので、適切な人員配置に心がけていきたい。

**田谷哲雄議員**

介護支援充実するため、ケアマネージャーや護士等の人的補強も必要と思うが、その考えはあるのか。

**村長**

その辺も十分考慮し、事業を進めて参りたい。

**田谷哲雄議員**

施設をつくる中で、近隣自治体で自前で持っているところはないと思う。病院との連携や専門業者とタイアップする等が一番近道のようなので、村長はこれから業者等との折衝をしていく考えはあるのか。

**村長**

今回の施設については、村が運営するのではなく、社会福祉協議会へ運営を委託したい。

**田谷哲雄議員**

農業振興について、先の臨時議会に提案された水田利活用促進事業については、実施事業者も少なく、個人を支援、補助する一過性のものと思うが、次年度以降も続ける考えか。

**村長**

米の生産目標達成に取り組みやすいよう、補助をだすための事業ですので、生産目標数量達成するため必要であれば、継続して行っていきたい。

**田谷哲雄議員**

納税は公平であり、その使われ方も公平でなければならぬし、より多くの人が実感を持って受け止めていただく事業に使われるべきと思う。

**村長**

物事を推進しようとする人グループ、団体に農・商・工とすそ野を広げて考えていたのだが、村長の考えは。

**村長**

税は公平に使うことは当然だと思ふ。今回の補助は、PPPの問題と関係し、日本の農業への影響が懸念されることから、日本農業を守るため、国においても戸別所得補償や水田利活用事業が始まったと思う。村としても農家が取り組みやすいよう補助したものですので、ご理解願いたい。

**田谷哲雄議員**

地域産業六次化について、この近隣自治体では取り組んでいるところは少ないようだが、村長は積極的に推進、取り組む考えか。

**村長**

農産物に付加価値をつけ販売することは、農業経営上も地域産業活性化の上からも大切であるので、村としても積極的にいかわっていきたい。

**田谷哲雄議員**

少子化対策としての土地造成分譲は人口減・児童数減に対する対策ですので、できるだけ早急に対処していただきたいと思うが、いかがか。

**村長**

まず、小中学校の良い教育環境をつくり移住を促進することも大事だと思う。そうした環境整備を図りながら、小規模分散型の宅地分譲も視野に入れていきたい。

**田谷哲雄議員**

職員新規採用について、雇用条件としてパソコンに精通していることが求められます。本村においても、こうした新しいシステムに対応できる若い職員が必要ではないか。

**村長**

職員採用にあつたては、一般試験として共通の公務員試験を受けることが、一番の条件であり、かつ採用となる方の成績は公開することになっている。優秀な職員を採用することを最前提に行っているので、ご理解願いたい。

**審議内容**

**22年度補正予算**

十二月定例議会に村長から提出された議案内容は、二十二年度補正予算案五議案と人権擁護委員候補者の推薦にかかる諮問一件でありました。

**◇平成二十二年一般会計補正予算(第三号)**

既定予算額に8327万円を追加し、総額21億804万円と定められました。

歳入の主なものは国庫補助金に21万円、県支出金に186万円、財産収入に小・中学校の太陽光発電システム稼働に伴う電力売り払い料金22万円、繰入金に2558万円、繰越金として5068万円、諸収入に白河地方水道用水企業団出資返還金472万円増額計上されました。

歳入の主なものは、総務費は財政調整基金への積立金の増額、選挙費用確定に伴う減額等合わせて6023万円の増額計上となりました。

民生費は国民健康保険特別会計への繰出金の増額。衛生費では、簡易水道特別会計への繰出金の増額。農林水産業費においては、農業集落排水処理事業特別会計への繰出金の減額。土木費においては、村営住宅の維持修繕費用の増額。教育費では、小中学校の修繕費用及び教育用備品購入費用等あわせて241万円の増額計上となりました。

審議結果 原案可決

**◇平成二十二年国民健康保険特別会計補正予算(第三号)**

既定予算額に2052万円を追加し、総額5億7293万円と定められました。

歳入の主なものは、繰入金として保険基盤安定負担金280万円、前年度からの繰越金に1772万円を増額されました。

歳入の主なものは、保険給付費に2052万円が追加されました。

審議結果 原案可決

◇平成二十二年簡易水道特別会計補正予算(第二号)

既定予算額に2361万円を追加し、総額1億5346万円と定められました。審議結果 原案可決

◇平成二十二年農業集落排水処理事業特別会計補正予算(第二号)

既定予算総額の変更はなく、歳入において、前年度より繰越金確定に伴い670万円が増額され、一般会計からの繰入金と同額減額されました。歳出の変更はありません。審議結果 原案可決

◇平成二十二年介護保険特別会計補正予算(第三号)

既定予算額に5026万円を追加し、総額2億8295万円と定められました。歳入の主なものは、国庫支出金に166万円、県支出金に406万円、前年度繰越金1416万円、介護給付費準備基金からの繰入金3038万円が増額されました。

歳出の主なものは、介護給付費に3040万円、基金積立金1791万円、一般会計への繰出金等として195万円が増額されました。審議結果 原案可決

◇人権擁護委員候補者の推薦

について

人権擁護委員の任期満了に伴い、その後任者を推薦したため、村長より、議会の意見を求められました。本件について慎重に審議した結果「適任」との答申としました。

- 氏名 宮本 悦夫
- 住所 中島村大字松崎字松代 一番地

請願・陳情

十二月定例議会に提出された陳情は、つぎのとおり処理されました。

◇陳情第五号 肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する陳情

陳情者 福島県保険医協会 理事長 酒井 学 審議結果 採 択

意見書を次の機関等へ送付 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・厚生労働大臣 総務大臣・財務大臣・福島県知事

◇陳情第六号 患者の窓口負担大幅軽減を求める意見書採択に関する陳情

陳情者 福島県保険医協会 理事長 酒井 学 審議結果 継続審査

第六回臨時議会

平成二十二年第六回臨時会は、県人事委員会より給与・手当を減額する勧告に基づき、関係条例を改正するため臨時議会の開催となった。議案は五議案提案され、全議案とも原案のとおり可決された。

◇議会議員の議員報酬・期末手当及び費用弁償に関する条例

県人事委員会勧告に基づき議会議員の期末手当の六月と十二月支給の総支給率を100分の15減額し、平成二十二年十二月一日から施行する改正 審議結果 原案可決

◇村長等の給与及び旅費に関する条例

議会議員の期末手当と同様村長の期末手当の支給率を同率減額する改正 審議結果 原案可決

◇教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例

議会議員の期末手当と同様教育長の期末手当の支給率を同率減額する改正 審議結果 原案可決

◇職員の給与に関する条例

職員の期末手当の支給率を、100分の10、勤勉手当を100分の5あわせて100分の15減額する改正。

また、当分の間五十五歳を超え行政職六級の者の給料月額等を0・9パーセント減じる改正。

◇職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

平成十八年に実施された給料水準引き下げに伴う経過措置の適用を受けている、五十五歳を超え、給料表六級適用者の給料月額を0・9パーセント減じる改正。 審議結果 原案可決



村長報告

十二月九日、十二月定例議会初日冒頭に村長より村政の執行状況について次のとおり報告がありました。

行政報告

・スポーツフェスティバル 十月二十四日に、昨年までの村民マラソンとスポーツ祭を「村民の健康づくり」を重点として実施した結果、参加者の増加を見、多くの村民の方々の健康づくりに楽しい一日となりました。

・村民文化祭

十月三十日から十一月一日まで体育センターで開催。

・健康福祉祭

十一月三日に福祉センター及び保健センターで開催され、各種の健康チェックや虫歯の無い児童生徒の表彰等を行い、さらに温泉施設の無料開放もあり、多くの来場者がありました。

・ふくしま駅伝

十一月二十一日に開催されたふくしま駅伝は、総合順位三十三位、村の部五位と昨年より順位を総合で二つ、村の部で一上げました。



工事関係

- ・緊急雇用創出基金事業 四名の臨時道路整備員及び住民健診データ入力作業員一名の雇用を創出し、十月をもって終了。
- ・公園広告塔修繕工事 九月二十二日竣工。
- ・原山住宅塗装工事 十月二十九日竣工。
- ・村道滑津・川原田線測量設計業務委託
- ・十一月二十四日委託発注。集中豪雨等基本調査業務委託

十月六日委託発注。

- ・村道維持補修工事
- ・村道大池下・二子塚線等八路線について工事発注。
- ・コミュニティセンター修繕工事

十一月十一日工事発注し、翌年一月末完成をめざして進捗中。

- ・松崎地区排水路施設修繕工事
  - ・大池下地区排水機能強化工事
- それぞれ測量設計業務が完了し、十二月発注予定。

委員会報告

議会運営委員会

- 委員長 円谷哲雄
- 委員 鈴木新平
- 委員 吉田茂美
- 委員 木村秋夫

九月定例議会以降の議会運営委員会の活動は、次の通りです。

◇十一月二十四日委員会

提出議案について 総務課長より、第六回臨時議会に提出案件について説明を受け、今臨時議会において審議することにしました。

・会期及び審議日程について 会期は一日で審議することにしました。



議会運営委員会

◇十二月七日委員会

提出議案について 総務課長より十二月定例議会に提出予定案件の概要について説明を受け、今議会で審議することとした。

・一般質問について 三名の議員より質問通告があり、事務局長より質問要旨について説明し、通告どおり質問を実施することに決しました。

・請願陳情について

今定例会には、五件の陳情有りました。事務局長より陳情要旨について説明し、「肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する陳情書」及び

「患者の窓口負担大幅軽減を求める意見書採択に関する陳情書」の二件について総務教育常任委員会に付託することに決しました。また、郵送された三件の陳情については資料配布のみとすることに決しました。

総務教育常任委員会

- 委員長 水野谷博
- 委員 円谷哲雄
- 委員 折笠三吉
- 委員 木村秋夫

本委員会は十二月九日に二件の陳情案件の付託を受けて同日委員会を開催して陳情内容について慎重に審査しました。

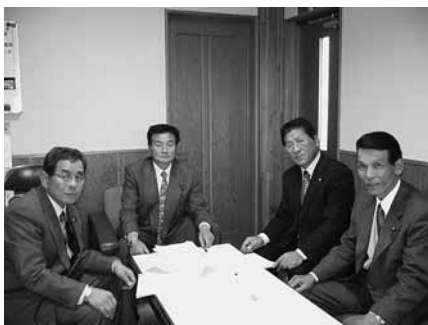
◇陳情第五号 肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する陳情書

陳情資料によると肺炎は主要死因の上位にあり、また肺炎による死亡率は高齢者ほど増加の傾向にある。

肺炎の要因となる肺炎球菌はワクチン接種により予防可能なことから、ワクチンの接種は極めて重要である。ワクチン接種率を向上させるためには、公的な支援は必要であるとの意見の一致を見ました。

◇陳情第六号 患者の窓口負担大幅軽減を求める意見書採択に関する陳情書

医療費の自己負担軽減を求めることについては、経済的な理由を考えると十分理解できるが、しかし軽減した場合その負担財源をどこに求めるのかの問題があり、現時点では明確ではない。よって今後医療費制度全体として、費用負担の議論が先決ではないかとの結論に達し、本件は「継続審査」とすることとした。

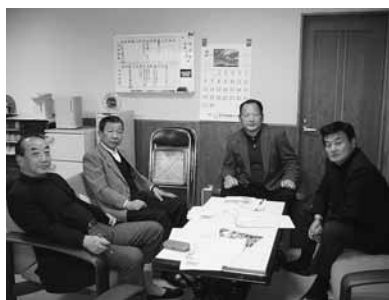


陳情について審査する総務教育常任委員会

### 議会広報編集委員会

委員長 鈴木新平  
委員 水野谷薫  
水野谷博  
小室辰雄

本委員会は、二月七日委員会を開催し、議会だより二月号編集業務を行いました。



広報編集委員会

### 消防団出初式

一月九日中島村消防団の平成二十三年出初め式が中島村体育センターで行われました。式は、小室正光村消防団長訓示のあと、通常点検が行われ村長、折笠議長を始め議会議員全員、来賓が団長に続き通常点検を行いました。

また折笠議長は議会を代表し、祝辞を述べました。

### 平成二十三年 中島村新年祝賀会

一月九日生涯学習センター輝ら里において、平成二十三年中島村新年祝賀会が開催されました。

祝賀会には、村議会議員をはじめ約80名が参加され

ました。

村長年頭挨拶に引き続き議会を代表して折笠議長が「村民が幸せ多い年となるよう」祝辞を述べました。

また席上、本村に多額の寄付をされた小室康彦前村長の長男隆一氏へ村長より感謝状贈呈がありました。



祝辞を述べる折笠議長

### 編集後記

今年わが家にも年賀状が届きました。どの年賀状もウサギは軽やかにとび跳ね「飛躍」を表わしています。今年こそ皆さんにとつて良い年であるように祈るばかりです。

そんな中、新年を迎え全国各地からホツトな話題に驚き、喜びにわいています。児童養護施設に「伊達直人」を名乗る人物からランドセルや寄付金などの善意のプレゼントが相次いで寄せられこのプレゼントに添えられた手紙には、一様に「勉強やスポーツを一生懸命頑張つて立派な大人に成長してください。」といったメッセージが書かれていました。

最近暗いニュースが多い中、ホツトな贈り物に施設では感謝している事が報道で伝えられています。

本村議会でも加藤村長のもと、村民一人一人が夢と希望が持てる住みよい豊かな村づくりのために努力し、今年の干支のウサギのように「飛躍」したいと思っております。

村民各位のご協力、ご指導をよろしく願います。

広報委員 水野谷薫

### 議会のしりごと

月日	事項
11月24日	・議会運営委員会
"	・22年第6回臨時議会
27日	・消防団新幹部歓迎会
"	・中島幼稚園発表会
29日	・広域圏市町村長・代表議長会議 (広域圏)
30日	・議会広報編集委員会
12月7日	・議会運営委員会
9~14日	・22年第4回定例議会
9日	・総務教育常任委員会
24日	・白河地方広域市町村圏整備組合 議会定例会（白河）
"	・西白河地方衛生処理一部事務組合 議会定例会（白河）
1月6日	・知事年始懇談会（福島）
8日	・中島村成人式
9日	・中島村消防団出初式
"	・中島村安全祈願祭
"	・中島村新年祝賀会
18日	・管内一部事務組合正副議長会議 (西白衛生組合)
25日	・棚倉矢吹線整備促進要望（県庁）
28日	・定例町村議会議長会（白河）
29日	・あやめ発表会（吉子川小学校）